

佐藤渡辺、女性技術者が現場パト

田修治社長や金井義治専務らと女性技術者が「建設業で仕事を続ける上で不安」「女性の入社を進めるため取り組みなければならぬこと」などをテーマに議論した。

安全。パトロールは女技術者同士の懇親を深めるとともに、女性ならではの視点

で現場の安全対策や作業環境、社員の働き方改革で意見を聞く目的で実施している。点検したのは「R6能越道徳田大津高田舗装復旧工事」（発注・国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所）の現場。完成に向け舗装工事が進む様子などを視察した『写真』（佐藤渡辺提供）。

役員との意見交換では女性社員が抱えている不安や悩みを相談できる環境づくり、トイレ付きのオフィスカーの導入検討など、さまざまな提案があった。将来的に安全環境部に女性社員も配置し、女性目線で現場環境の改善に力を入れるといった意見も寄せられた。

鎌田社長は「圧倒的な当事者意識持つ」ことを強調し、「何事も自分で考え失敗した時、他人のせいにならず、そこから学ぶことが重要だ」と述べた。金井専務は「出産や育児といった将来への不安に会社として必ず対応する。不安を持たず希望を持って仕事を続けてほしい」と語りかけた。

